

もみじ少年団員募集中!

君もみんなと一緒に緑の少年団で自然の仕組みや大切さを体験してみませんか

多良峡もみじ

第8号

2009年8月1日

発行所
多良峡もみじ少年団事務局
編集 大嶽 喜久



多良峡もみじ少年団メンバーの記念撮影

ちょうど去年の5月、緑の村公園で開催された「ぎふみどりの祭り」に合せて「多良峡もみじ少年団」が設立されました。そして1年がたちました。



今年、郡上市高鷲にあるひるがの高原でぎふみどりの祭りが開催されました。みどりの祭りでは地元郡上市の子供たちが元気に参加していました。一般の参加だったので郡上の子供たちと話したりすることもなく少しがっかりしたけど、知らない場所へ来て多良峡もみじ少年団の事をすこしでも知ってもらえたかな。清流国体マスコットの塗り絵やペンダントを作ったり丸太切りにも挑戦しました。

郡上市ひるがの高原で開催されたぎふみどりの祭りに参加してきました

「ぎふみどりの祭り」参加!

帰りにひるがの高原スキー場へいきみんなでスキー場を駆け上がった記念撮影。上石津にはない広々としたスキー場の緑は気持ち良かったです。



もっと色々な所の少年団がみどりのまつりに参加しているのかなと期待していたのですが少し残念だったな



ます。来年は東濃地区での開催と聞きました。また参加して岐阜県中に「多良峡もみじ少年団」をアピールしますよ。



もみじの苗作り (講習会に参加)

多良峡にもみじを植えて名所しようとおじさん達が小さな苗を抜いて育てる勉強会が資料館の裏にある高木家の屋敷跡でありました。少年団の仲間も一緒に勉強し、苗をとって家で育てることにしました。



夏の暑い日の水やりは大変だけど頑張ります。

新しいフィールド! 自然とふれあえる森林の準備

森林は、放置しておいたらドンドンとダメになってしまいます。上石津の山もおじいさんの時代

にスキヤヒノキが一杯植えられました。

今作る家は、外国からの安い木で作られるようになりせっかく植えた山の木も使われなくなってしまうました。そしておじいさんも年を取り山へ仕事に行くことも出来なくなり山は手入れされなくなりました。

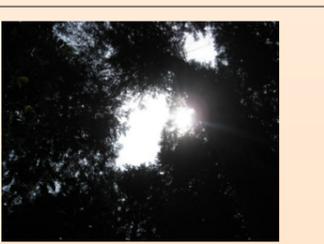
ここでは、森林の手入れを始めています。あるけど木を切ったり山のことを知らない人に教えたりもしています。春から初めてだいぶん木も切り光りも入ってきました。

森林活用じゅくインやまむらって言うんだよ。



いきました。そんな山を少しでも手入れしようとおじいさんの仲間が森林ボランティアとして月に何回か休みを利用して牧田の山村にある森林の手入れを始めました。

秘密基地を作るために木を集めて準備ははじめました。丸太を切ったりもできるよ。



森林についてのお勉強!



秘密基地にベンチを作った

やまむらの森に切った間伐材を利用してベンチを作りました。切った木の皮をはぎとり、チェーンソーで座る部分を削り木の杭で固定しました。近くに秘密基地を作るよ。



5センチ位の苗を育てて多良峡に自分の手で植えることにします。

鹿の足跡を発見!

やまむらの作業場所へ行く途中に鹿の足跡を発見しました。ハッキリと残っているね。これは左足だね。左の方が長いのがわかるよね。

この森では木を切っているときにすぐ横を鹿が走って逃げていったよ。足跡を見るだけでどんな動物かわかるんだよ、みんなも須城谷で家の足跡化石を見たまね。



編集後記

少年団のみんなと活動を初めて自分でも上石津の素晴らしさを改めて感じています。自分のすぐ周りにあっても見過ごしていたり気にもしていません。こんな素晴らしい自然一杯の上石津、みんなを守って未来のある子供たちにも伝えて行くこと、これが私の使命かな。